9月定例会 個人質問

馬越裕正議員

「政策観光」について

議員　政策観光とは、各自治体の政策について、他の自治体からの視察を受け入れる際、お金が消費され、口コミ等によって観光客も増加するという考え方を施策として認識することである。資料代等の名目による収入や、本市での食事や宿泊等を視察受け入れの要件とするなど検討する時期に来ていると思うが、どうか。

市長　資料代等の有料化については、他の導入事例を研究した上で、慎重に検討を進めていきたい。視察を引き受ける際には、本市への宿泊や食事など、アプローチも必要であると考えている。

「地産地消」政策について

議員　通称「六次産業化法」が施行されている。8月に道の駅笠岡ベイファームがオープンしたが、この法律をいかに遵守したのか、今後どのようにするつもりなのか。

市長　道の駅では、地元の農水産物を販売額のベースで70％以上にする、レストランの使用材料は極力地元の材料を使用する、など地産地消に取り組み、法を順守した運営を行っている。今後、地産地消をもう一歩進めて、消費者のニーズに合った農林水産物の生産を推進する「地消地産」の考え方で進めるとともに、特産物の開発を積極的に支援し、地域の農水産業の振興を図っていきたい。

社会資本の充実について

議員　今後の本市における社会資本の充実について、給食センターの建設・運営、市民病院の建て替え、温水プールの建設・運営、市営住宅の再開発・維持管理運営、郷土館の建設についてＰＦＩ（民間資金を活用した社会資本整備）手法を検討するかどうかたずねる。

市長　市民病院、市営住宅については、事業を実施する際はＰＦＩ方式を含め、整備手法を検討したい。

教育長　給食センターについては、何がベストな整備手法か、現在コンサルに委託しているので、その結果を参考に決定したい。

温水プール、郷土館については、しかるべき建設時期にはＰＦＩ手法での整備、運営も検討したい。

郷土館

金藤照明議員

自治体におけるＰＲＥ戦略の導入について

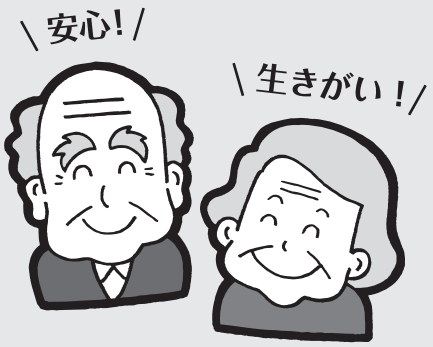
議員　ＰＲＥ戦略とは、国や地方自治体が所有する公的不動産を戦略的な観点からマネジメントし、長期的、全体最適などの視点に基づき、その所有・利用形態を合理化していこうという戦略である。本市が有する資産の適切な選択と集中を行うために、公的不動産を経営的な観点から捉え、賃貸運用や売却などを含めた有効活用や最適化を図っていく必要があると考えるが、考えをたずねる。

市長　ＰＲＥ戦略の導入は、本市においても検討すべき事項であると思っている。先進事例等も参考にしながら、本市における費用対効果を研究・検討して進めていきたいと考えている。

人生80年時代の安心と生きがいについて

議員　「人生80年時代の安心と生きがい」に向けた新たな展望と制度設計が必要となってくると考える。本市における展望と将来設計をたずねる。

市長　第6次総合計画を基本に市政を運営し、活力のある福祉都市の実現に向けて取り組んでいきたいと思っている。

議員　空き家等を利用して、地域の方が集い、皆と語らいができるような場ができないか。

副市長　空き家を利用するというのは非常に有効ではないかと思う。まちづくり協議会で話し合い、発展していけば理想的ではないか。